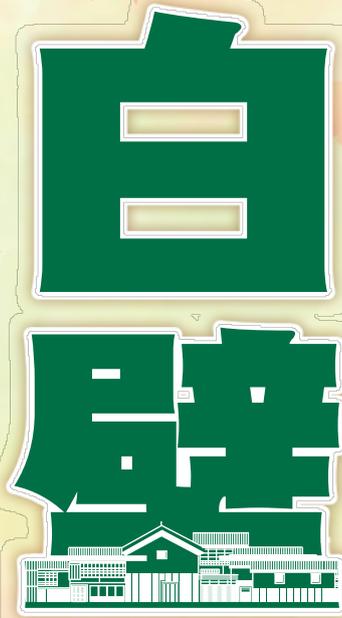


令和4年9月1日発行

倉吉市議会だより



6月定例会

この議会だよりは、議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。



今号の内容

市政に対する一般質問	2	7
議案に対する質疑	8	11
常任委員会	12	13
議案等の議決結果	14	13
5月臨時会(議案等の議決結果)	15	15
タブレット導入	15	15
スイカ生産の魅力に迫る!!	16	17
市民の声・9月定例会・編集後記	18	18



夏の味覚「倉吉西瓜」

倉吉スイカ選果場では、市内の中学生が暑い中、汗を流して職場体験をしていました。

令和4年6月第5回倉吉市議会定例会が、令和4年6月13日(月)から6月27日(月)まで開催されました。
 会議録(質問・答弁など)は市立図書館でご覧になれます。
 市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。



No. 22



【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

会派名	議員名	発言通告要旨
く ら よ し	藤井 隆弘	○ 市長の政治姿勢について
		○ 教育のまちづくりについて
	丸田 克孝	○ 竹林整備について
		○ 森林・山村多面的機能発揮対策交付金について
		○ 農業用水路と他の水路の接続について
	大月 悦子	○ 観光ルートについて
		○ 「有害ごみ」の出し方について
	大津 昌克	○ 若者をまちづくりの主力にについて
		○ 市長の政治姿勢について
	田村 閑美	○ 教育振興について
○ SDGsの取組について		
公 明 党 ・ 改 革 新 政 会 市 議 団	笠原 晶子	○ 女性活躍への取組について
		○ パートナースHIP・ファミリーシップ制度について
		○ ホームページのチェック体制について
		○ 体育座りの影響について
	鳥飼 幹男	○ 教育機会確保法を活かした支援について
		○ 市内中小企業の人材確保と若者の就職・定着の促進について
		○ 地方創生臨時交付金(原油価格、物価高騰対応分)の活用について
	鳥羽 昌明	○ 自然がっこう「自由な学び舎」の支援について
		○ 住民満足度向上のための市政運営について
		○ 関金・西エリアの光ファイバー網整備について
○ 自治体DXについて		
福井 康夫	○ コロナや物価高騰等による市民生活への影響について	
	○ 広田市政の目指す「元気な倉吉」像について	
	○ 倉吉市の小学校適正配置計画について	
	○ 公立保育園統合の現状について	
	○ 消防団員の現状と課題について	
		○ 地域高規格道路北条湯原道路について

会派名	議員名	発言通告要旨
さ さ き が け	山根 健資	○ 倉吉市職員人事評価制度について
		○ 学校のコロナ対応について
		○ クラウドファンディングの推進について
	福井 典子	○ 保育士等の働き方改善について
		○ 学校給食について
	米田 勝彦	○ 街なみの保存・環境の整備について
○ 希望が持てる目標づくりについて		
朝日 等治	○ 歩きたくなる街づくりについて	
	○ “中山間地域を守ること”について	
う づ ぶ き	鳥羽 喜一	○ 内部統制について
		○ 長距離自然歩道・中国自然歩道について
		○ 人口減少社会に向けた倉吉市の取組について
	○ 倉吉市の伝統を大切にしている取組について	
	○ 関金振興に対する取組について	
日 本 共 産 党	佐藤 博英	○ 学校給食費に対する助成の拡充について
		○ 生理用品の各学校トイレへの設置について
		○ 加齢性難聴者への補聴器助成制度について
		○ 中山間地対策及び移動支援について
		○ 温暖化防止、CO ₂ 削減のための本市の取組について
		○ 国のインボイス制度、水田活用交付金削減に対する本市の姿勢について

○印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

一般質問通告一覧表より

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載しています。



■疲弊する地域経済立て直し策について
 ■高齢化対策について
 ■公共施設としての学校エレベーター設置について



ふじい たかひろ
藤井 隆弘
 Fujii Takahiro

問 疲弊する地域経済立て直しについて今後の取組は。

答 がんばる事業者福高応援事業の支援の範囲の拡大、新分野チャレンジに対する支援、観光商品開発に対する支援等を計画中で、今議会中に追加提案の予定である。

問 高齢化対策に関する広田市長の考えは。

答 重点的に取り組む必要がある。市民の意見を聞き、不足している施策等があれば提案し、対策に取り組みたい。

問 児童生徒、教員等で移動が難しい者がいる学校へは、優先的かつ早急にエレベーター設置が必要ではないか。

答 緊急性が高いものと捉えて優先的に整備を行いたい。

■竹林整備について
 ■森林・山村多面的機能発揮対策交付金について
 ■農業用水路と他の水路の接続について



まるた かつたか
丸田 克孝
 Maruta Katsutaka

問 市場城跡は文化財保護のための竹林整備ができるのか。

答 文化財保護は大切。地元の関係者の皆さんと検討が必要で協力はできる。

問 森林・山村多面的交付金の取組はできるか。

答 ハードルは高いが、事業主体の皆さまと協議していく。

問 防災、減災の取組で農業用水路と他の水路との接続はできないか。

答 安易な水路の接続は、他の箇所の水害発生も考えられ、改良区との協議、検討が必要。

■「有害ごみ」の出し方について
 ■若者をまちづくりの主役について



おおつき えつこ
大月 悦子
 Otsuki Etsuko

問 4月から分別区分に「有害ごみ」が追加されたことについて110人中85人が知っていたが、シヨートによる発火や火災を予防するための乾電池の出し方など、高齢者などにわかりやすい説明が必要では。

答 図・写真などで、わかりやすい資料を工夫し、一層の周知を図っていきたい。

問 県立倉吉農業高等学校・県立倉吉東高等学校の生徒が青パイヤについて栽培、研究に取り組んでいる。彼らが希望、提言していることに対する支援策は。

答 地域の高校生が連携して取り組んでいる事を頼もしく思った。地元産業に繋がればと期待している。できる限り応援したい。



■職員人事について
■教育振興について

問 副市長が未だ空席だがどう考えているか。

答 副市長は必要と考える。6月議会提案に向け人選に努めたが調整がつかず次の定例会には提案したい。

問 副市長2名制や全国公募はどうか。

答 人口や財政面からも2名は考えていない。公募についても倉吉をよく知る人を対象に地元の方で探したい。

問 専門監の外部登用について。

答 専門性の高い職種の外部人材は有効と考える。特に情報関係は必要であり確保したい。

問 学生インターンシップの積極的受入れを。

答 ご提案を参考に検討したい。

おおつ まさかつ
大津 昌克
Otsu Masakatsu



く

■ゼロカーボンシティ宣言について
■SDGsの取組について
■女性活躍への取組について

問 ゼロカーボンシティ宣言実現への具体的取組は。

答 数値の見える化は難しいが取組を市民に示したい。

問 総合的な倉吉SDGsの作成、推進を希望する。

答 いろいろ関連付けて取り組みたい。グリーンスコレせきがね再生や大御堂廃寺跡復元の事業にも取り入れたい。

問 市役所の女性管理職者登用促進について。

答 登用をしていきたい。

問 鳥取県庁と連携した女性活躍促進への希望。

答 連携して取り組みたい。

問 女性起業家支援を望む。

答 積極的に支援策を考えたい。

たむら しずみ
田村 閑美
Tamura Shizumi



こ

■パートナーシップ・ファミリーシップ制度について
■ホームページのチェック体制について

問 倉吉市に導入してはどうか。

答 部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例を平成6年に制定し、市をあげて差別を許さない世論の形成、人権尊重の社会環境の改善に取り組んでいる。市営住宅の入居については、差別が生じないよう点検し利用改善を検討したい。導入については、倉吉市人権施策推進連絡会において問題点等を整理し、課題について協議したい。必要に応じ審議会、有識者等の意見を伺いながら検討したい。

問 チェックリストを作っては、どうか。

答 今後は、チェックリストを作成して確認できる体制にしていきたい。

じくはら しょうこ
竺原 晶子
Jikuhara Shoko



公・新



■市中小企業の人材確保と若者の就職・定着の促進について
 ■地方創生臨時交付金（原油価格、物価高騰対応分）の活用について

問 企業による奨学金返還支援制度を推進し、制度を有する企業を支援すべきでは。

答 企業と協議し、来年度の支援制度導入に向けて検討する。

問 物価高騰を受け、学校給食費の値上げが出ている。臨時交付金を活用して保護者の負担を回避すべきでは。

答 高騰する食材費の増額分の負担を支援する。

問 臨時特別給付金は、課税世帯であってもコロナ禍の影響で家計が急変した場合は受給対象になるが、未申請の方があがる。周知と相談体制は。

答 家計急変の判断が難しいので、福祉課を窓口として専用ダイヤルを設置し、相談体制を取る。



とりかい みきお
鳥飼 幹男
 Torikai Mikio

公・新

■住民サービス向上の取組について

問 障がい者手帳アプリ「ミライロード」は、手帳を提示する際の心理的負担がなくなることや、紙の手帳の破損・紛失対策等のメリットがある。市施設での導入を。

答 障がい者割引等を提供している市の施設であればミライロードは対応可能だと思える。出来ることから導入していきたい。

問 「LINEスマートシティ推進パートナープログラム」は「市役所を手のひらに」をコンセプトに様々な住民サービス創出を目指すもの。DX推進へ向け本市も検討を。

答 LINEは利用者が非常に多く、業務によっては大きな導入効果が見込められると思う。プログラムの参加について検討していきたい。



とば まさあき
鳥羽 昌明
 Toba Masaaki

公・新

■「倉吉市副市長の選任について」
 ■「小学校適正配置計画」成徳・灘手統合について」

問 市長は激務で、議員定数の削減を前提に常勤の副市長を充実する考えはないか。

答 就任してから打診してきた。9月議会には提案したい。複数体制は考えてない。

問 新校名「至誠」に決定した経緯と統合準備委員会の現状は。

答 応募総数341件「至誠」打吹「うつぶぎ」の理由が発表され、統合準備委員会で決定された。今後学校教育審議会を経て、学校設置条例の一部改正について倉吉市議会に上程することになる。



ふくい やすお
福井 康夫
 Fukui Yasuo

公・新

【会派名】 ◀ …くらしし 公・新 …公明党・改革新政会市議団 ▶ …さきがけ 共 …日本共産党 ㊤ …うつぶぎ ㊦ …こころ



■倉吉市職員人事評価制度について
 ■学校のコロナ対応について
 ■クラウドファンディングの推進について



やまね けんし
 Yamane Kenshi

さ

問 職員人事評価制度の運用・制度疲労や苦情申出期間が

適当でない他、メンタルヘルスの不調を抱える職員が多い事について、管理職の能力を担保する仕組みを提案をしたが、どうか。

答 よく検討し、必要な場合は見直しを行いたい。

問 小中学校のコロナ対応の過度な対応に対し、前向きな

かたちで常に能動的な対応をお願いしたいが。

答 国や県の通知を基にそれぞれの学校、地域の実情に応じて決めている。

問 クラウドファンディングの更なる推進と、もっと積極的に活用してはどうか。

答 積極的に活用を検討する。

■保育士等の働き方改善について
 ■学校給食について
 ■街なみ保存・環境の整備について



ふくい のりこ
 Fukui Noriko

さ

問 市立保育園の正規職員と会計年度任用職員数は。

答 正規職員46人・39%、任用職員70名・短期2名・61%全職員が内外で研修している。

問 給食費無償化への考えは。

答 現在、小中在籍3人目以降は保護者3割負担、就学支援助成児童は3分の2減免措置をとっている。無償化のためには食材費のみで概算約2億3百万円必要となる。今は値上げせず保護者負担を増す事なく給食の質・量を維持していく方向。

問 彫刻と緑と花の道としてプロムナードを活用しては。

答 県立美術館からの街あるきマップを作成し、大いにアピールしていきたい。

■希望が持てる目標づくりについて
 ■歩きたくなる街づくりについて



よねだ かつひこ
 Yoneda Katsuhiko

さ

問 目標の一つとして倉吉をスーパーシティの街にしては。

答 AI等を活用して未来の生活を先行実現するものや国家戦略特区の指定を受け、規制緩和をして進める事業など様々な条件があり、ハードルが高く、目指すのは難しいが、デジタルを活用したモデル事業に取り組むことは可能。

問 ウォーカブル推進事業と歩行者利便増進道路制度を市の重点施策にしては。

答 この2つの制度は大都會での取組と考える。県は以前、倉吉駅前の4車線を2車線にとり組まれたが地域との調整が難しく進んでいない。



■中山間地域を守ることについて
■内部統制について



あさひ とうじ
朝日 等治
Asahi Tohji

さ

問 本市の中山間地域の現状をどのように把握・分析され、将来像をどう描いていかれるか。

答 中山間地域は市域の礎であり、守り続けることが発展につながるかと考えている。調査結果なども参考にしながら、将来に向けて持続可能な数値目標の設定を検討する。

問 行政運営・経営の有効性・効率性を図るため、県内の自治体に先立ち、内部統制制度の導入を検討されないか。

答 監査委員制度との関係性を整理しながら、導入上、問題と想定される専門部局及び専属職員の配置などについて、役職定年制などの人事の活用についても検討する。

■倉吉市の伝統を大切に取る取組について
■関金振興に対する取組について



とば きいち
鳥羽 喜一
Toba Kiichi

う

問 赤瓦・白壁土蔵群の更なる活性化の為、文化財の保存を専門的に司る教育委員会文化財課を文化財の観光・移住活用を司る生活産業部に移動させ、文化財である米子城の「観光活用」で賑わう米子市のように、文化財の保存・活用の連携強化を狙う事はできないか。

答 市長部局への移管を前向きに検討したい。

問 グリーンスコレならではのユニークで魅力を持った「選ばれる」宿泊施設となるようしていただきたいが、どうか。

答 費用対効果に優れた提案を総合的に審査する。

■学校給食費に対する助成の拡充について
■生理用品の各学校トイレへの設置について
■加齢性難聴者への補聴器助成制度について
■国のインボイス制度、水田活用交付金削減に対する本市の姿勢について



さと ひろひで
佐藤 博英
Sato Hirohide

共

問 学校給食の半額助成、就学援助児の無償化は、少子化、貧困、移住定住、農家支援のためにもすべきだが。

答 子育て支援として考え、市長と相談したい。

問 生理用品を学校トイレに常備できないか。

答 今後運営方法も含めて考えていきたい。

問 高齢者用補聴器への助成は、フレイル・認知症予防のために必要と考えるが。

答 障害者総合支援法との整合性や効果に疑問がある。

問 インボイス制度と水田活用交付金制度の中止を国に求めたい。

答 他団体とも協力して検討していきたい。





【議案に対する質疑】

議案の疑問を質すー

6月20日(月)に、執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。



議員名	通 告	担当部局
藤井 隆弘	R04 一般補正 スマート農業社会実装促進事業	生活産業部
	R04 一般補正 小学校運営(総務)	教育委員会
	R04 一般補正 中学校運営(総務)	教育委員会
	R04 一般補正 体育施設維持管理	教育委員会
米田 勝彦	R04 一般補正 農業次世代人材投資事業	生活産業部
	R04 一般補正 スマート農業社会実装促進事業	生活産業部
	R04 一般補正 中心市街地活性化推進事業	生活産業部
鳥飼 幹男	R04 一般補正 企画政策推進(『元気な倉吉づくり会議「市長と“はなし”しょいや』)	総務部
	R04 一般補正 企画政策推進(鳥取県立美術館開館機運醸成創出支援事業補助金)	総務部
	R04 一般補正 公園管理事業	建設部
	R04 一般補正 除雪対策	建設部
大津 昌克	R04 一般補正 企画政策推進	総務部
福井 康夫	R04 一般補正 空き家対策	建設部
	R04 一般補正 教育総務	教育委員会
大月 悦子	R04 一般補正 がんばる農家プラン事業	生活産業部
	R04 一般補正 新規就農者育成総合対策事業	生活産業部
	R04 一般補正 中心市街地活性化推進事業	生活産業部
田村 閑美	R04 一般補正 道路橋梁総務(建設)	建設部
	R04 一般補正 除雪対策	建設部
	R04 一般補正 空き家対策	建設部
佐藤 博英	R04 一般補正 企画政策推進	総務部
	R04 一般補正 小規模零細地域営農確立促進対策	生活産業部
	R04 一般補正 農業次世代人材投資事業	生活産業部
	R04 一般補正 中心市街地活性化推進事業	生活産業部
丸田 克孝	R04 一般補正 市役所本庁舎等感染症対策事業	総務部
	R04 一般補正 企画政策推進	総務部
竺原 晶子	R04 一般補正 がんばる農家プラン事業	生活産業部
	R04 一般補正 スマート農業社会実装促進事業	生活産業部
	R04 一般補正 新規就農者育成総合対策事業	生活産業部
	R04 一般補正 観光誘客促進支援事業	生活産業部
	R04 一般補正 商店街等活性化	生活産業部
R04 一般補正 中心市街地活性化推進事業	生活産業部	
福井 典子	R04 一般補正 中心市街地活性化推進事業	生活産業部
朝日 等治	R04 一般補正 体育施設維持管理	教育委員会
鳥羽 喜一	R04 一般補正 河川総務及び維持	建設部
山根 健資	R04 一般補正 ふるさと納税	生活産業部
	R04 一般補正 観光誘客促進支援事業	生活産業部
	R04 一般補正 中心市街地活性化推進事業	生活産業部
	R04 一般補正 小規模急傾斜地崩壊対策	建設部
鳥羽 昌明	R04 一般補正 観光誘客促進支援事業	生活産業部
	R04 一般補正 市役所本庁舎等感染症対策事業	総務部
	R04 一般補正 新たな生活様式に対応した行政システム導入事業(申請)	生活産業部

R04 一般補正 … 議案第46号 令和4年度倉吉市一般会計補正予算(第3号)



主な質疑・答弁

スマート農業社会実装促進事業

補正前	1,004万2千円
補正額	872万4千円

―担い手の減少が進んでいる農業において、持続可能な農業を実現するため、県が令和元年度から実証してきたスマート農業技術の現場普及拡大を図る。

Q 事業の内容は

A AIなどを活用して、持続可能な農業者、組合法人を育成するもので、「農業用ドローン」「自動運転草刈り機」「自動運転田植機・コンバイン」の経費の1/2を補助するもの。
手を上げた事業者は、県がポイント制で採択する。今回は7つの経営体に対するもの。

Q ポイント制の内容、基準は

A 機械の共同利用促進、農地面積の拡大、農業者育成の取組、

女性参加促進などがある。女性

参加では、自らが代表であったり、責任者であれば、ポイント加算もある。

また、この事業は、要望が強く予算的にも足りない場合は補正などで対応していく。



体育施設維持管理

補正前	6,233万6千円
補正額	9,285万1千円

―安心安全な体育施設及び温水プールの維持管理のため、経年劣化により修繕や取替が必要となった施設や設備を維持補修するもの。

Q 市営温水プールヒートポンプの

設計費と工事請負費、取替工事についての概要は

A 法定耐用年数が15年を超えており、今年で21年目。交換部品等も無く、故障すれば長期休館が予想される。改修は10台中、8台を予定。工期は、設計業務に約2か月。設計完了後にヒートポンプの取替え工事で、1か月程度での完了見込み。今年度内の完成を目指している。毎年2月に特別休館をしているので、その期間に工事を実施する計画。湿度の影響が大きく、塩素を使用することから老朽化が早い状況。特殊な機械を使用しているので維持修繕に費用がかかる。

Q 体育施設費の機械器具費の詳細は

A トラクタ本体490万円余。芝刈りをする「モア」80万円余。刈った芝を集める集草装置140万円余。肥料を散布する散布機20万円余。それらの器具を装着するための装置を合計す

ると、862万6千円となる。

Q トラクタは現場に4台あるが、備品台帳には3台しか掲載されていない。どのトラクタを更新されようとしているのか

A 平成8年の関金町時代に購入し、現在、関金ラグビー場で使用しているもの。合併当時の引継ぎがうまくいっておらず現在台帳にはないもの。

Q 以前購入したトラクタに比べて100万円程度高いのは

A 大型になり、作業の効率化、使用頻度があるため。

Q 見積の期限が過ぎてきているのは

A 以前から購入について検討してきたため、再度確認を取りながらということになる。

Q 現場の声が機種選定に反映されているか

A 直接の声は聞いていない。いろいろなところから情報をいただきながら協議し、選定したものである。



【議案に対する質疑】

【質疑とは？】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では、質問回数は1議題5回までとなっています。

補正前	9,109万4千円
補正額	1,300万円

中心市街地活性化推進事業

—民間主体による美しい街なみづくりを推進するため、県と協調し、美しい街なみづくり事業費補助金により支援を行う。

地域課題を解決する人材育成を図るため、企業版ふるさと納税による寄附金を活用し支援を行う。

Q ふるさと納税による寄附金を活用し、地域課題を解決する人材を育成する事業として約1,200万円余が充てられているが、この予算の概要は

A 倉吉と都市部の人材が研修を通じて交流しながら、地域課題の洗い出しを行い、本市の総合戦略の見直しを行っていくことが目的。予算は、講師代・研修プログラム作成費用・会場費・旅費・実地研修後のアフターフォロー等に充てられる予定であり、費用のうち800万円は

ふるさと納税による寄附で賄われている。参加者は、市の職員をはじめ、本市に所在する民間企業や、ふるさと納税の寄附を行った企業の従業員から選定される。

除雪対策

補正前	5,285万2千円
補正額	1,265万円

—迅速な除雪により生活道路の確保を図るため、ホイールローダの購入・リース等、及び小型除雪機購入に対して支援するもの

Q ホイールローダの購入と借り上げ・小型除雪機購入支援事業・高齢者への除雪支援・除雪機納期について、具体的な内容は

A 大雪時の交差点等の排雪対策などとしてホイールローダ1台の購入費6,853千円、借上料(リース)1台分、775千円計上。普通自動車運転免許で運転できる大きさ、交差点等に山積みに残った雪の積込み作業にお

ける財源は過疎対策事業債予定。地域への貸し出しも検討。小型除雪機購入事業補助金5,000千円計上、自治公民館で大雪に備えた購入検討で補助要望があり25機分の購入補助金想定。高齢者への除雪機貸し出しは市職員が配送する事もある。



企画政策推進

補正前	92万5千円
補正額	69万1千円

—若者の意見を市政に反映させるため『元気な倉吉づくり会議「市長と」はなし』『しよいや』を行うもの。

Q 『元気な倉吉づくり会議「市長と」はなし』『しよいや』を行うための予算110千円について今後の予定、対象者などについて具体的な説明を

A 今年度は、10回開催予定で、そのうち8回は市が若者の定住に向けてテーマを設定して若者を対象に1回20人程度の呼びかけを行う。2回は募集型で市報、ホームページなどを通して募集を行う。

対象者については中学生から30歳代の社会人、市内在住者、市出身の若者も対象にしている。

—美術館開館に向け、市民の関心を高め、機運醸成を図り取り組むを行う事業者や団体等に事業費の補助を行うもの

Q 「新規事業」鳥取県立美術館開館機運醸成創出支援事業補助金500千円について、事業内容の概要を具体的に説明を

A 事業の目的は令和7年の開館を目指し、機運を盛り上げることに重要。そのために地域住民

や事業者が主体的になつて自分たちの地域・事業・コミュニティを元気づけていく機運づくり。

対象は市内に住所を有する者で5人以上の団体、市内に事業所や店舗がある事業者。

具体例として飲食店の開館記念メニューの開発、文化のまちづくり、美化活動、グッズの作成など。

補助年限は令和4年度内。補助率等は10/10 上限50千円10件。

【交付金事業】観光誘客促進支援事業

補正前	0円
補正額	6,392万円

—新型コロナウイルス感染症の終息が長期化し、大きな影響を受け続けている観光関連事業者を支援するため、市内の宿泊施設、飲食店、観光施設等を対象とした観光応援キャンペーンを実施するもの

Q 内容と改善点について

A 市が実施した消費喚起策の中では最大規模。プレミアム率40%の飲食・観光応援クーポンを28,000セット発行。飲食店、宿泊施設で使える飲食クーポン6,000円分と観光体験施設や土産品店、タクシー、代行サービスで使える観光クーポン1,000円分。合わせて7,000円分のクーポンを5,000円で販売。販売利用の期間は益前から令和5年1月末まで。購入場所は市内の9か

所店舗。変更点は発行総数を増やし、プレミアム率を高めた。

改善点は購入条件を緩和。一人1日5セットまで購入可能。

Q 取組店舗の拡大については

A 飲食クーポン取組対象店舗は、鳥取県の新型コロナウイルス感染症予防対策協賛店又は新型コロナウイルス安心対策認証店に登録を条件とし公募。観光クーポン券については倉吉観光マイス協会会員を条件とし公募。わからないことは問い合わせてください。



河川総務及び維持

補正前	2億7,539万1千円
補正額	1,817万2千円

—豪雨時の迅速な浸水対策として、排水ポンプ車格納庫（防災倉庫）建設地の造成工事を行うもの

Q 豪雨による福守町周辺の浸水被害対応のために排水ポンプ車を既に購入しているが、その格納庫建設の造成工事に1,800万円余が必要であるとのことだが、市役所の屋根付き駐車場に排水ポンプ車を置くことで、その費用を節約できないか

A 格納庫は、早急な災害対応を要するため、福守町に近い鴨川町に建設予定である。また、土のう、備蓄品も保管するため、市役所駐車場では手狭であることから、市役所駐車場ではなく、新たに格納庫を建設する。





【常任委員会】

【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

教育福祉常任委員会

委員	鳥羽 昌明 委員長
	山根 健資 副委員長
	伊藤 正三 委員
	大津 昌克 委員
	佐藤 博英 委員
福井 典子 委員	
所管	健康福祉部、教育委員会

教育福祉常任委員会には2件の議案と1件の陳情が付託され、6月22日に委員会審査が行われました。

議案第46号の審査では、水はけの悪い市内4校のグラウンドの雨水排水改善を行う事業について、また体育施設維持管理事業として芝管理用のスポーツトラックの購入に関し、執行部からその必要性や、これまで備品台帳へ一部不記載があった点についての謝罪と経緯の説明がありました。

議案第48号の審査では、コロナワクチン接種率の現状と分析や4回目接種の進め方についての他、燃油価格や食材費の高騰への対応策として、訪問介護サービス事業所等への支援や学校給食の保護者負担を増やさない為の事業について、その算定根拠等の説明がありました。

提出議案以外では、成徳小学校と灘手小学校統合準備委員会における新校名選定についての経過報告がありました。

審査の結果

付託された議案は全て可決されました。陳情第12号については全会一致で採択となりました。

総務建設常任委員会

委員	米田 勝彦 委員長
	竺原 晶子 副委員長
	朝日 等治 委員
	大月 悦子 委員
	福谷 直美 委員
藤井 隆弘 委員	
所管	総務部、建設部、会計課、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会

総務建設常任委員会には議案3件、請願1件、陳情4件が付託され、委員会審査が行われました。

議案第46号では本庁舎非常用発電機を現在の2時間仕様から72時間への更新について質疑があり、審査しました。同号、排水ポンプ車1台の格納庫設置場所について他に適地がないか質疑があり、執行部の説明を受け、審査しました。

同号、県立美術館開館機運醸成創出支援事業補助金

について質疑があり、市民の皆様の美術館の機運を高めるために使っていただきたいと説明を受け、審査しました。

議案第48号では市営住宅建て替え事業をPFI方式で行うことについて質疑があり、従来方式に比べ約6,800万円の削減効果と説明を受け審査しました。

審査の結果

付託された議案は全て可決されました。請願第1号及び陳情第9号は採択、陳情第11号は趣旨採択、陳情第13号及び陳情第14号は陳情のまま据え置く、となりました。

*PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力・技術的能力を活用して行う新しい手法のこと。

生活産業常任委員会には2件の議案と3件の陳情が付託され、6月22日に委員会審査が行われました。議案では飼料価格の高騰により経営圧迫されている農家への支援として1千万円余、がんばる事業者福高応援事業の支援として4千万円余、観光客の誘客促進を図るための観光商品造成委託料2千万円余、中心市街地活性化推進事業1千3百万円余『倉吉緋のれん事業』倉吉観光応援クーポンの発行28,000セット

生活産業常任委員会

委員	福井 康夫 委員長
	鳥飼 幹男 副委員長
	田村 閑美 委員
	鳥羽 喜一 委員
	丸田 克孝 委員
所管	生活産業部、農業委員会

ト6千3百万円余、第12回国和牛能力共進会への参加132万円などを審議。

審査の結果

議案はいずれも可決されました。

陳情の結果

陳情第8号「女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書提出について」は趣旨採択。陳情第10号「国の水田活用直接支払交付金の見直しの白紙撤回を求める意見書提出について」は採択。陳情第15号「消費生活相談行政におけるSNSの活用及び相談体制の拡充、消費者教育の充実については趣旨採択となりました。

あなたの写真で表紙を飾ろう!

議会だよりの表紙写真を募集します



あなたの写真で表紙を飾りませんか。たくさんのご応募お待ちしております。

【募集する写真】

倉吉市内で撮影された季節が感じられる写真で、倉吉市を紹介できる作品。四季折々の風景や祭り、地域行事の写真など。

【応募資格】

倉吉市在住、在勤または在学の方

【選考方法】

議会だよりの編集委員会で審査を行い、選出します。

【応募方法】

撮影者の住所、氏名、ニックネーム(希望の場合)、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを持参、郵送、または電子メールで議会事務局へ提出ください。※郵送の場合は、応募写真をCDまたはDVDなどに保存して郵送してください。電子メールの場合は受信の都合上、1~3MBでお願いします。作品は、随時募集します。

【送付先】

〒682-8611 倉吉市葵町722
倉吉市議会事務局

電子メール: gikai@city.kurayoshi.lg.jp



【注意事項】

- 被写体が人物または個人の所有物である場合は、応募に関して必ず被写体本人(未成年者の場合は保護者)、または所有者の承諾を得てください。※応募写真に関する著作権、肖像権等に関する責任はすべて応募者に帰属し、倉吉市議会では一切負わないものとします。
- 応募写真は、無償で倉吉市議会が使用することに許諾したものとします。
- 応募写真の著作権は撮影者本人に帰属しますが、応募してから1年は、他媒体での発表を行わないでください。
- 必要によりトリミング処理などを行うことがあります。
- 記念品等はありませんのでご了承ください。
- 応募写真の返却は原則行いません。



【臨時会とは?】

突発的事情などにより、次の定例会の開催を待つことができない場合、特定の事件に限ってこれを審議するために、臨時招集される議会のことをいいます。

【会派名】<…くらしし 公・新…公明党改革新政会市議団 さ…さきがけ 共…日本共産党 う…うつぶき 国…こころ

賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否														賛成	反対	議決結果			
		藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子				佐藤博英	鳥羽喜一	田村閑美
議案 第 42号	令和4年度倉吉市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	15	0	原案可決
議案 第 43号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	15	0	原案可決
議案 第 44号	倉吉市職員の給与に関する条例及び倉吉市任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	15	0	原案可決
議案 第 45号	法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	15	0	原案可決

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥、一議長のため表決に加わらず

議会のタブレット導入・運用を始めました

市議会の効率的で効果的な議会運営と充実した議案審議及び災害等の非常時における議会機能の維持を目指し、本市の市議会議員及び議会事務局にタブレット端末を整備するため、議会改革推進特別委員会で、調査・検討をしていた「議会タブレット」が、7月1日より導入されました。

導入・運用にあたり、議会事務局職員が講師となって、各議員がタブレットの勉強会をしました。



本会議、委員会などを傍聴する方へのお願い (新型コロナウイルス感染防止対応策について)

傍聴にお越しの際には、次のことにご留意ください。



傍聴前の検温をお願いします。



健康状況シートへ記入をお願いします。



マスクを着用してください。



隣の人と **1メートル以上離れて**座るようにしてください。



入場前の**手洗い**と、入場時の**アルコール消毒**を徹底してください。

なお、本会議についてはケーブルテレビ放送(日本海ケーブルネットワーク・121ch)を行っていますのでご活用ください。



スイカ生産の魅力に迫る!!

平成6年度地域農業基盤確立農業構造改善事業
鳥取中央
JA倉吉 スイカ選果場



J A 鳥取中央倉吉西瓜生産部会では、129戸の農家が93haで、「倉吉西瓜」「極実西瓜」などを出荷しており、2021年度は11億2,939万円と、過去最高額を記録。

今回は、倉吉のスイカ生産について、勢いのある西瓜生産部会のみなさんに意見を聞きました。(2022年6月23日)

スイカ生産の魅力は、

☆苦勞して栽培したスイカが大きく育ち、美味しくなって収穫できるときに「嬉しい」と感じる。☆スイカだけの栽培でも、1年間の収益を得て生活している人もいる。それだけの収入を得ることは、やり方次第で可能であること。また、裏作で他の作物も栽培し、収穫・出荷できるので、スイカ栽培に加えて、収益を得ることができる。

スイカ生産に係る作業について

☆作業は、11月末くらいから準備が始まり、6月初旬から7月末くらいまで行う。トンネル作り、苗植え、ツルの整理など女性のほうが、目の行き届くこともある。☆老若男女が、作業にかかわれる。☆小中学生でも、できる作業はたくさんある。☆女性の経営者もあり、家族で協力して生産を行っている人もいる。



倉吉のスイカをどのように宣伝・広報しているか。

☆J A 鳥取中央倉吉西瓜生産部会のホームページ・Facebook・Instagram等のSNSを使って広報を行っている。また、未来ウォークなどのイベントに参加したり、J A 直売所・大阪、東京で試食販売したりするなどPRを図っている。そのほかには、取材に来てもらったり、企業を回ったりしてPR活動も行っている。



新規就農者について

☆近年の新規就農者は、一昨年は4人、昨年は5人、今年は1人、来年は4人と、年々新規就農者は増えている。☆新規就農者に関しては、国・県市の支援があり、充実している。生産部会では、技

術面に対してバックアップを行っている。

☆スイカ生産は近年、生産量も価格も右肩上がり、収入も得られるが、資材なども高騰していることが懸念材料。

☆指導員のもとで働き、報酬を得ながら技術を学ぶことができる制度もある。新規参入者にとっては、受け入れ態勢も充実しており、初めて農業をする人も、向かいやすい農業。

スイカ生産者の「夢」や課題について

☆西瓜は西瓜でも、「倉吉西瓜」を皆さんに知ってもらいたい。「倉吉」という知名度をあげていきたい。

☆現在、使用している選果場の機械が、故障や停止してしまう現状であることから機能向上が必要な時期が来ている。出荷運営をスムーズに行うためにも、行政からの支援をお願いしたい。

☆物価、物流コストの上昇に伴っての価格転嫁はできないので、何らかの支援を希望する。☆せっかく栽培した作物でも、イノシシ等の鳥獣被害が多数あるので、充実した対策を講じてほしい。





倉吉で「農業をしてみたい」と考えている方へ

*新規就農関係の主な支援制度 (R 4. 7月時点)

交付金

経営開始資金
就農応援交付金 (県事業)
親元就農促進支援交付金 (県事業)

補助金

経営発展支援事業 (国事業)
就農条件整備事業 (県事業)

融資

青年等就農資金 (日本政策金融公庫)

※これらの交付・補助金等を受けるには、「青年等就農計画」の認定を受け、「認定新規就農者」になることなどが必要です。詳しい内容や説明は、倉吉市役所農林課(電話:22-8157)までお問い合わせください。



【倉吉市HP】



【鳥取県HP】

また、6月24日には、東京アンテナショップでの倉吉西瓜の試食宣伝販売を行いました。本年度は、選果機の導入から10年以上経ち、故障したり選果が停止したりすることが多く、選果機の機能向上が必要な時期に入ってきていますので、新選果機の導入にあたり、市議会にもご協力いただきたくことがあります。宜しくお願いします。

今年の西瓜は、天候にも恵まれ、食味も良く、糖度も高い、美味しい西瓜に仕上がっています。選果のピークに入ります。

このたびは、市議会議員さんとの意見交換の機会を設けていただき、ありがとうございます。



倉吉西瓜生産部会
部会長 岸本 健志 さん

編集委員の感想

倉吉スイカの市場を広くするためには、倉吉市の知名度が必要!!

- たくさん出荷されたスイカが並ぶ選果場の風景は圧巻。
- 倉吉西瓜生産部会として新規就農者支援やPR活動に取り組まれているとのこと、素晴らしいと思った。
- 機械の維持、機能向上など課題もあるが、掲げられた目標実現のため、JAや市政策とともに応援できることがあるように思った。
- スイカ農地が増えれば規模の拡大を狙えるということであった。収益性の高い農作物の栽培を進めるため耕作放棄地をスイカ畑にしていく取り組みを行政が主体的に動いていく必要があるのではないかと感じた。
- スイカ農家の方々の知られざる世界を少しだけ垣間見ることができました。スイカ栽培を上手に行えば、倉吉では安定した高収入を得られる可能性が大いにある事を教えて頂いた。倉吉西瓜のブランド強化、生産・就農体制強化を更に行えば、大きな可能性を秘めていると思った。
- 若手農業者の活躍しやすい環境づくりに力を入れ、生産者が協力し、誇りをもって生産されて明るく生き生きされている。
- 生産者や新しい生産農家育成、また「倉吉」を知ってもらうためにも、議会の果たす役割を發揮することを共通認識としていきたい。





日本女性会議 2022 in 鳥取くらしよ
実行委員会

実行委員長
たなか ひびき
田中 響さん

(鳥取看護大学看護学部 学部長)

令和4年 9月 倉吉市議会定例会

【会 期】9月5日(月)～9月22日(木)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
9月5日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
6日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
7日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
8日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
9日	金			予備日	
10日	土			休会	
11日	日			休会	
12日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～	
13日	火	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～ 委員会付託	
14日	水			予備日	
15日	木	委員会		常任委員会 (予定)	
16日	金	委員会		常任委員会 (予定)	
17日	土			休会	
18日	日			休会	
19日	月			休会	
20日	火			予備日	
21日	水			議事整理日	
22日	木	本会議	午前10時	委員長報告～ 付議議案の討論・採決	



…ケーブルテレビ放送あり

※録画放送は開催日の午後7時から。



…手話通訳あり

※倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。

会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



編集
後記

梅雨なのか、夏なのか、秋なのか、そして大雨、大雪、酷暑…と、これまで経験したことのない気候・気象が続いています。

議員は、災害対応はもちろんのこと、災害への備えの充実強化、地域住民の安全確保など、やるべきことはたくさんあります。

それらを行政任せ、個人任せにせず、議員自身の問題として捉え、住民と共に取り組まなければと、気を引きしめます。

(編集委員 佐藤 博英)

議会だより「白壁」のご意見・ご感想はこちら ▶



—倉吉市に暮らして

倉吉市の小高い丘にある鳥取看護大学をつくるため、倉吉市に暮らしはじめて、9年目になります。ここ倉吉は、くらしの中で、季節の移り変わりを肌で感じることができ、ひとが本来もっている「ひとを癒す力」や温かい「思いやりの心」「気遣いの心」を具現化できる街だと感じています。人口が少なく、高齢化率の高い街、言い換えれば、コンパクトでアットホーム、人の顔が見える街、だからこそいろいろな人々の意見や想いが反映できる街だと思います。

—日本女性会議について

2022年10月この街で「日本女性会議」が開催されます。倉吉市をはじめ鳥取県は、女性が活躍できる街づくりを全国に先駆けて取り組んできた歴史があります。女性を取り巻く課題は数多く残されていますが、女性の課題だけでなく、誰もが笑顔で暮らせる街を目指すことがこれからは大切です。そのため、自分は何ができるのか、今何をしなければいけないのかを一緒に考える機会にしたいと考えています。第39回目の会議ですが、倉吉市のような人口が少ない街で開催するのは初めてです。「おかえりなさい」を合言葉に、全国の方をお迎えしたいと思います。ぜひ皆さんも参加、体験して一緒に考えましょう。

—倉吉市への期待すること

倉吉の良いところを残しながら、新しい取り組みを推進していく街であってほしいと思います。伝統だけでなくクリエイティブにアクティブにイノベーションできる街づくりを期待しています。ここに暮らすすべての人々がここに生まれてよかった、ここで暮らしてみたい、ここで暮らしてよかった、ここで生ききったと笑顔になれる街を目指して様々な取り組みにチャレンジしてほしいと思います。コンパクトで人々の顔が見える街だからこそ、多くの人々の考えや想いをアクティブリスニングできる街であってほしいと願っています。